

第12回 球磨川流域治水協議会 説明資料

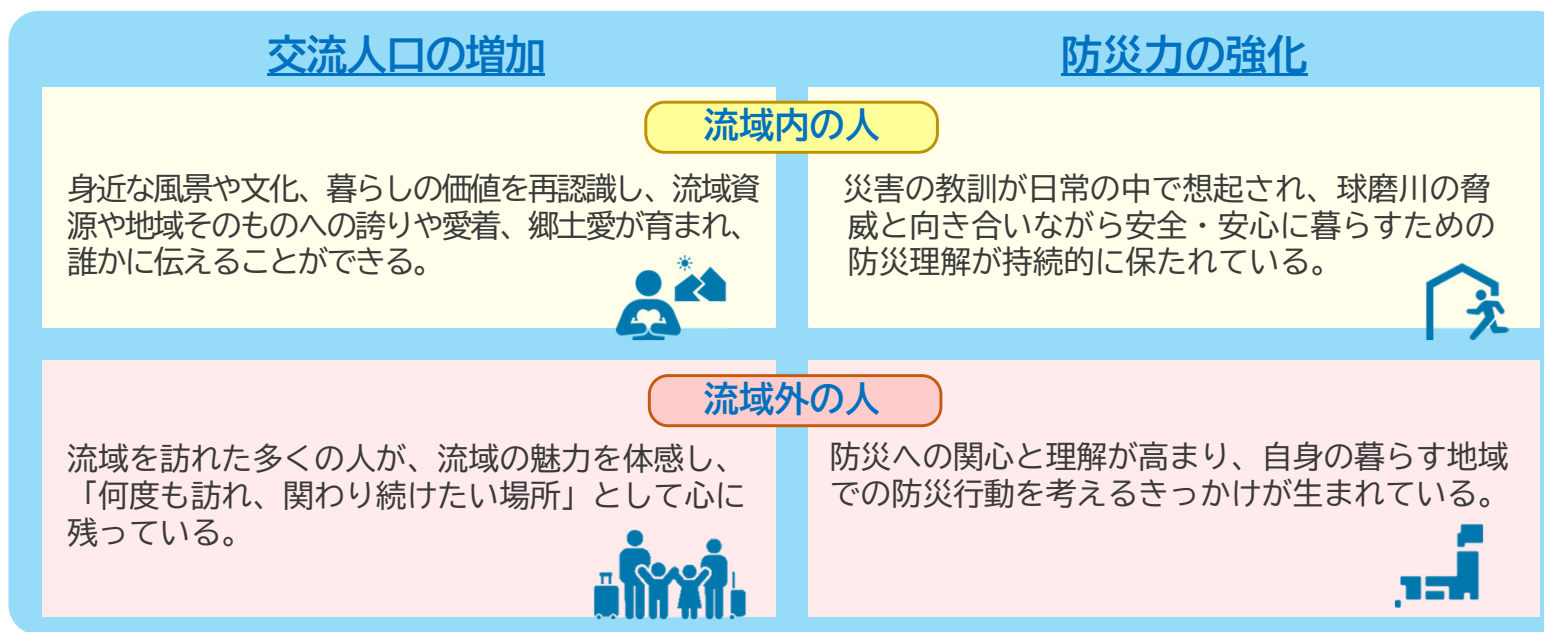
その他情報提供

令和8年6月4日

球磨川リバーミュージアム構想の推進に向けた取組み

- 令和7年度は球磨川流域の観光関係団体等との意見交換会や現地調査、キックオフフォーラム等を実施し、目指す姿や今後の方針を示した球磨川リバーミュージアム構想を策定。
- 構想では、球磨川リバーミュージアムを旗印に、球磨川を核としてヒト・モノ・コトの流域資源をつなぎ、「球磨川リバーミュージアム」としてブランド化し、価値と発信力を高めることで、交流人口の増加や防災力の強化を図り、流域内外の人々が“残り・集う”持続可能な地域の実現を目指すこととしている。

リバーミュージアム構想の目指す姿



構想



キックオフフォーラムの様子



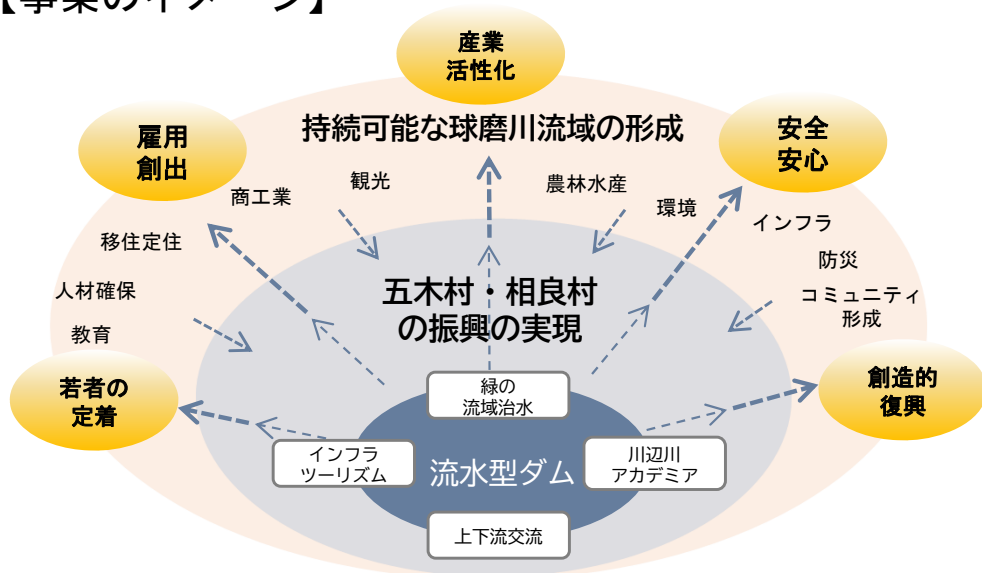
【令和8年度の取組み】

- 構想で位置づけた目指す姿を実現するために必要な推進体制を、国・県・流域市町村等で検討・構築し、推進計画やロゴ・サインのデザイン作成、モニターツアーの試行等の取組みを進める。

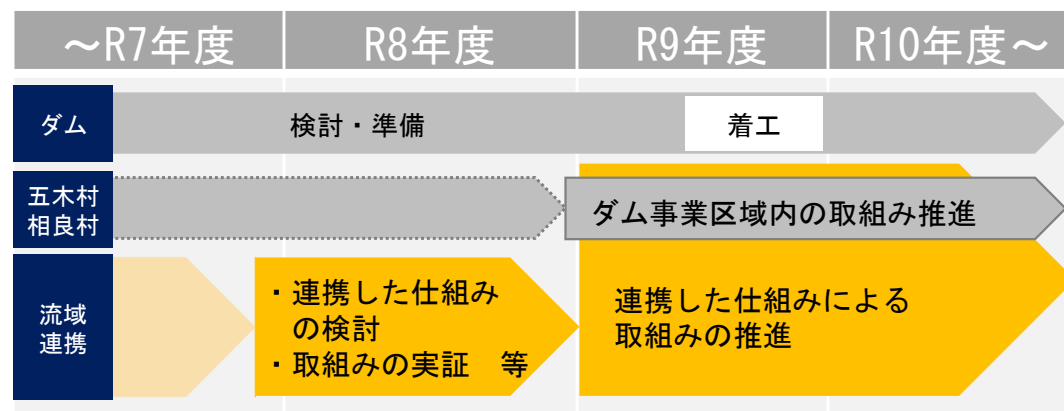
球磨川流域の地域連携推進に向けた取組み

- 球磨川流域の創造的復興の実現に向けては、川辺川の新たな流水型ダム事業に伴う経済効果を、流域全体に最大限波及させることが重要。
- そのため、流水型ダム事業に伴う効果を五木村及び相良村、さらには球磨川流域全体に、効果的かつ広域的に波及させるための国、県、市町村等流域のあらゆる関係者が連携し取組みを推進することで、**五木村及び相良村の振興**をはじめ、**持続可能な球磨川流域の形成実現を目指す。**

【事業のイメージ】



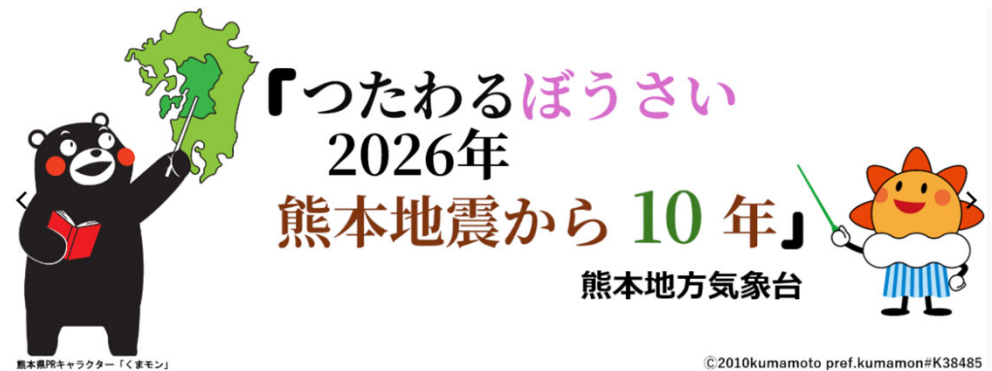
【ロードマップ】



【令和8年度の取組み】

- 流域の関係者による既存の取組整理や優良事例（森林・環境保全、インフラツーリズムなど）の調査等を実施するとともに、ダム事業に伴う経済波及効果のデータ収集・分析を行い、流域が連携した仕組みを検討する。
- 流域が連携することにより効果を期待できる取組みについて、実証を通じて調査・検討を行う。

令和8年5月29日からの防災気象情報の改善



現在の主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**したものです。（例：警戒レベル4 = 避難指示、警戒レベル3 = 高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」**という位置づけですが、警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があります。

警戒レベル				現在の防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
			指定河川洪水予報（河川毎）	洪水害（市町村毎）	大雨浸水害（市町村毎）			
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）		大雨特別警報（土砂災害）	高潮氾濫発生情報
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難	氾濫警戒情報	洪水警報		大雨警報（土砂災害）	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報					

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する。

＜警戒レベル4までに必ず避難！＞

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

レベルの数字を見ただけで、どういう行動をとるべき気象状況になっているのか、すぐにわかるようになることを目指す

- 河川氾濫等に関する情報のうち、**洪水予報河川は河川ごとに発表し、これを一般向けの警報扱いとします。**これまでの気象台による**市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行いません。**
- **水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進します。**
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけます。**洪水予報河川以外の河川についても、大雨に関する情報の中で一緒に扱います。**

河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む洪水警報等	
河川数	約400河川	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川事務所・都道府県による水位情報は、これまでどおり発表することとし、警戒レベルとの関係は変更しない。 ● 当面は、大雨に関する情報でも扱う。 	大雨に関する情報で扱う。	-
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			気象台
発表単位	河川ごと			市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報	早期注意情報	

〔 洪水予報河川への移行を促進 〕

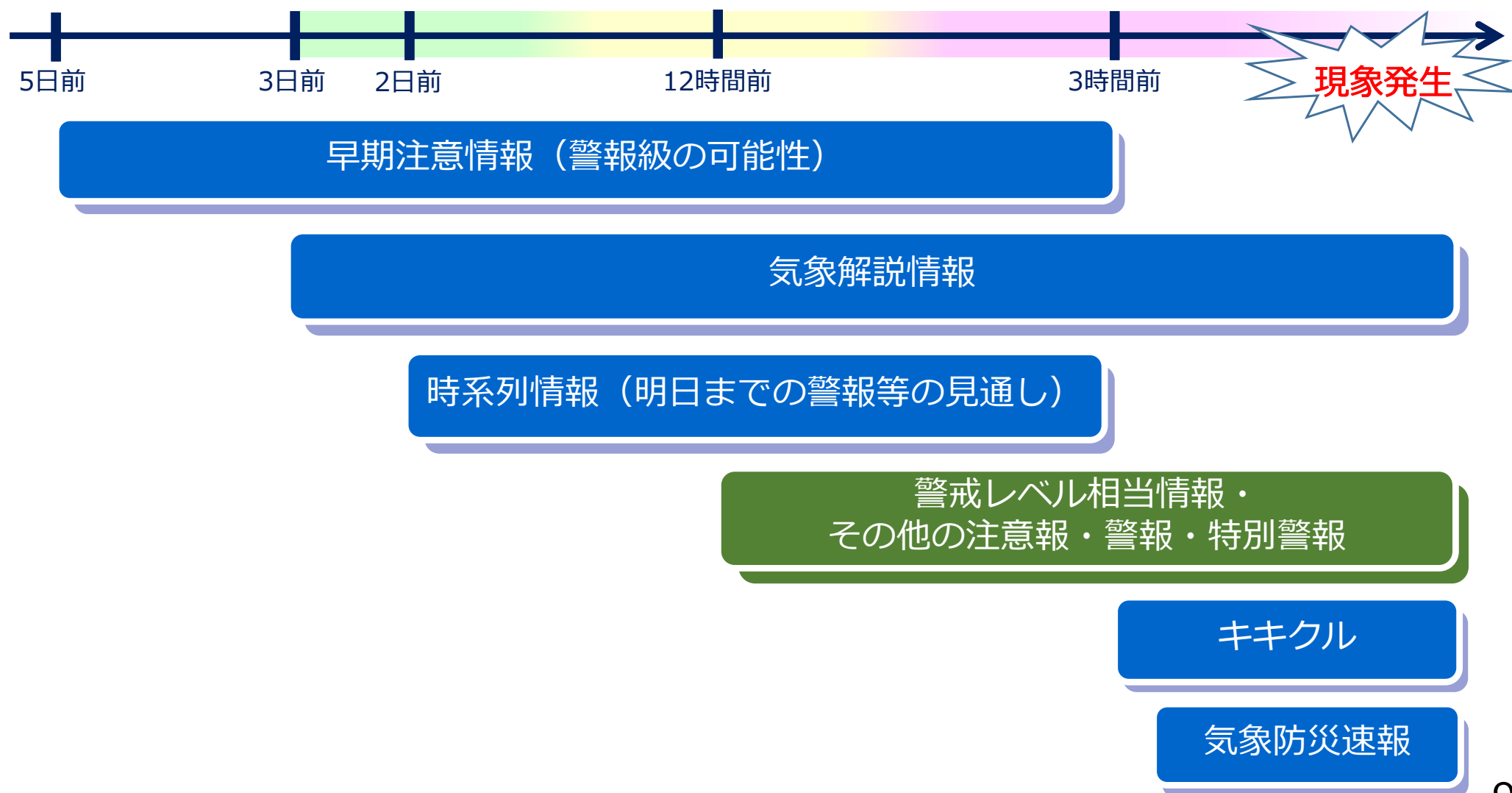
- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、**これまでと変わりません**。
- これらの情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒背景、警報は赤背景をしていますが、**警戒レベルには相当しない**ことに留意してください。

警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
 - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用してください。
 - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



- 早期注意情報（警戒レベル1）は、**5日先までの警報級の現象の可能性**を公表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、**翌日までの気象状況の見通し**を、毎日4回発表





早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日				3日		4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

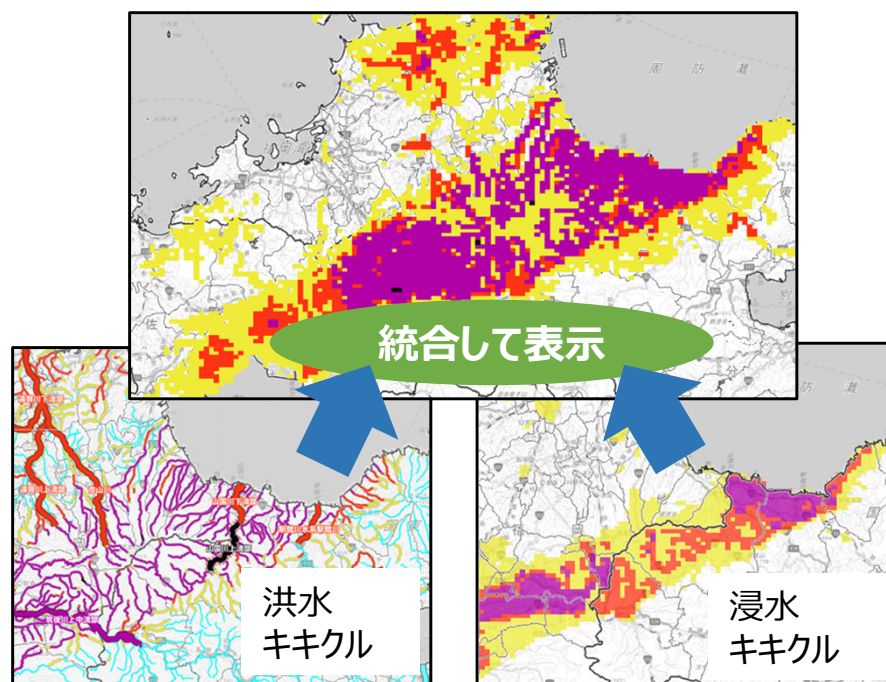
時系列情報（明日までの警報等の見通し）

〇〇市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）														
2026年XX月XX日11時00分発表														
〇〇市	地域	28日				29日				30日	備考・関連する現象			
1時間最大雨量(mm)		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
24時間最大雨量(mm)		200												
大雨		200												
土砂災害		200												
暴風(m/s)	陸上	5	10	15	25	25	25	25	25	25	25	15	5	
	海上	10	15	25	30	30	30	30	30	30	30	20	10	
6時間最大降雪量(cm)														
24時間最大降雪量(cm)														
大雪														
波浪(m)		2	4	6	8	8	8	8	8	8	8	5	2	
高潮	潮位(m)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5	
	霜													
	融雪													
	濃霧	陸上												
	着氷	海上												
	着雪													
乾燥	実効湿度(%)	80				90				70				
	最小湿度(%)	80				90				70				
	なだれ													
	低温													
	霜													

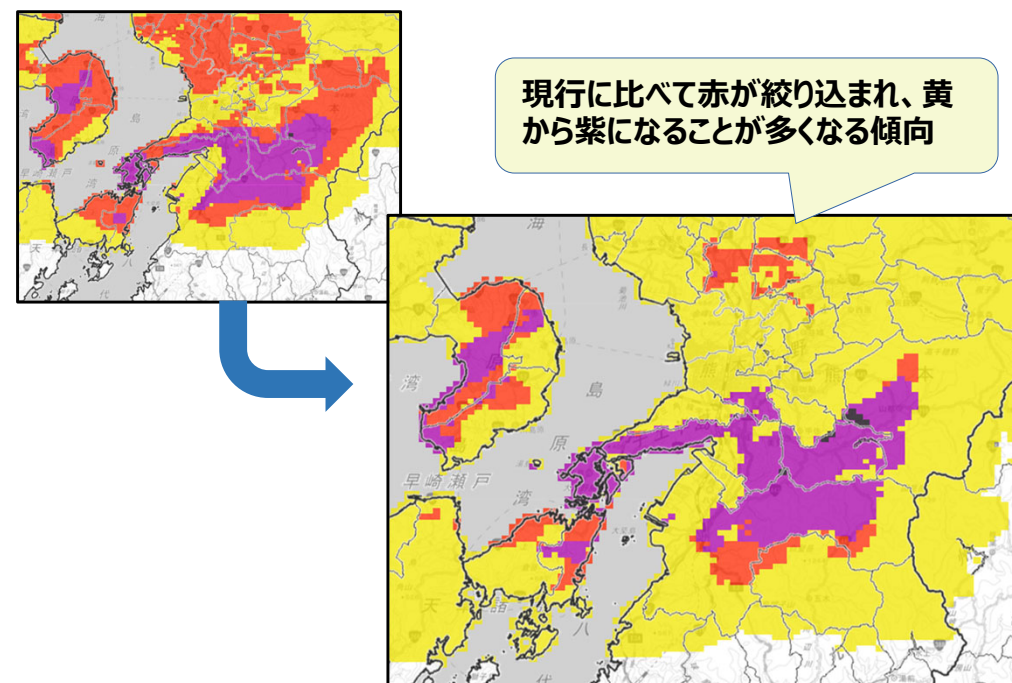
	災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
	危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
	警戒	警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
	注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、**危険度が高まっている地域を確認**するにはキキクルを活用してください。
- 「**大雨キキクル**」は、**大河川以外の河川の氾濫と浸水の危険度を重ねて表示**するもので、大雨に関する情報に対応しています。
- 「**土砂キキクル**」は、土砂災害の危険度を表示するものです。表示方法は従来と変わりませんが、以下の特性の変化に留意が必要です。
 - 現行に比べ、警戒（赤色）の判定が狭く、**注意（黄色）から危険（紫色）のケースが多くなります。**
 - 4～6時間先に警戒レベル4相当の基準に達すると予想してレベル3土砂災害警報を発表した場合には、**警戒（赤色）の判定が出ていないことがあります。**

大雨キキクル（イメージ）



土砂キキクルの特性変化（イメージ）



気象庁HPでは現行の洪水キキクルと浸水キキクルも切り替えて閲覧可能

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を公表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)

現状

- 記録的短時間大雨情報
- 顕著な大雨に関する気象情報
- 顕著な大雪に関する気象情報
- 竜巻注意情報



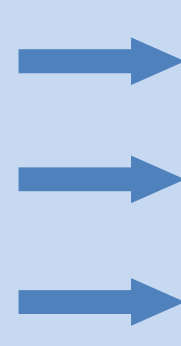
今後 (令和8年5月29日～)

- 気象防災速報 (記録的短時間大雨)
- 気象防災速報 (線状降水帯発生)
- 気象防災速報 (線状降水帯直前予測)
(R8年5月29日運用開始予定)
- 気象防災速報 (短時間大雪)
- 気象防災速報 (竜巻注意/竜巻目撃)

気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)

現状

- 線状降水帯半日前予測を記載した
全般/地方/府県気象情報
- 全般台風情報(総合情報)
- 大雨に関する
全般/地方/府県気象情報



今後 (令和8年5月29日～)

- 気象解説情報 (線状降水帯半日前予測)
- 気象解説情報 (台風第○号)
- 気象解説情報 (大雨)

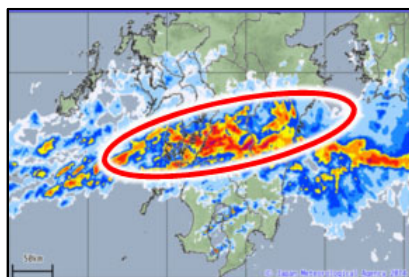
観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施しています。

- **令和8年5月29日から、2～3時間前**を目標にした予測情報を提供予定
 - **令和11年から、半日前に市町村単位**で線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式の情報を提供予定
- 情報のリードタイムを伸ばし、また、情報の発表の対象地域を狭めることで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていきます。

「迫りくる危険から直ちに避難」→情報のリードタイムをのばす

発生情報

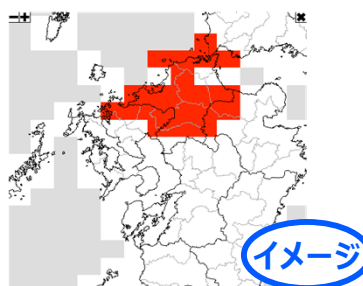
令和3年	線状降水帯の発生をお知らせする情報
令和5年	最大 30分 程度前倒し



線状降水帯の雨域を楕円で表示

直前予測

令和8年
2～3時間前を目標に
予測情報を発表



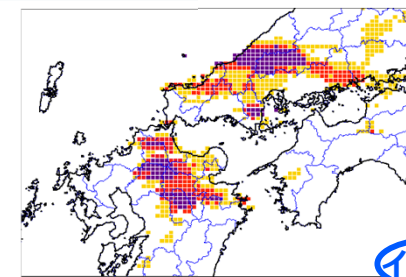
補足情報として、線状降水帯による大雨の恐れがある大まかな領域を
図情報で表示（予定）

半日前予測

令和4年	地方単位 で予測
令和6年	府県単位 で予測

↓ さらに**対象地域を狭める**

令和11年
市町村単位で把握可能な危険度分布形式の情報を提供



線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式で表示（予定）

線状降水帯に関する情報の位置付け

線状降水帯に関する情報

住民に求められる行動

線状降水帯発生
の可能性あり

～半日程度前

気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

内容：線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

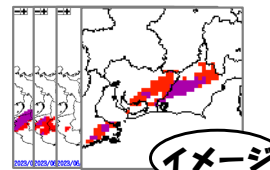
R4 地方単位で呼びかけ



R6 府県単位で呼びかけ



R11 線状降水帯による大雨のおそれが高い領域を半日前からメッシュ情報(市町村単位)で提供予定



イメージ

↑ 補足

大雨に対する心構えを一段高め、避難準備等、災害に備える

明るいうちから早めの避難

線状降水帯発生
の可能性高まる

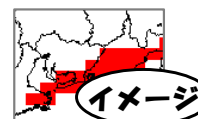
～3時間前

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

内容：線状降水帯による大雨発生の確度が高まったことをお知らせ

R8 ・お知らせ開始(5月29日予定)

・線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域を最大3時間前から提供予定



イメージ

↑ 補足

レベル4危険警報が発表されるタイミングと近いことから、周辺状況や自治体の避難情報等もふまえ、避難など適切な対応行動をとる

線状降水帯発生

30分前～現在

気象防災速報(線状降水帯発生)

内容：線状降水帯の発生をお知らせ

R3 ・お知らせ開始
・線状降水帯の雨域を楕円で表示

↑ 補足



イメージ

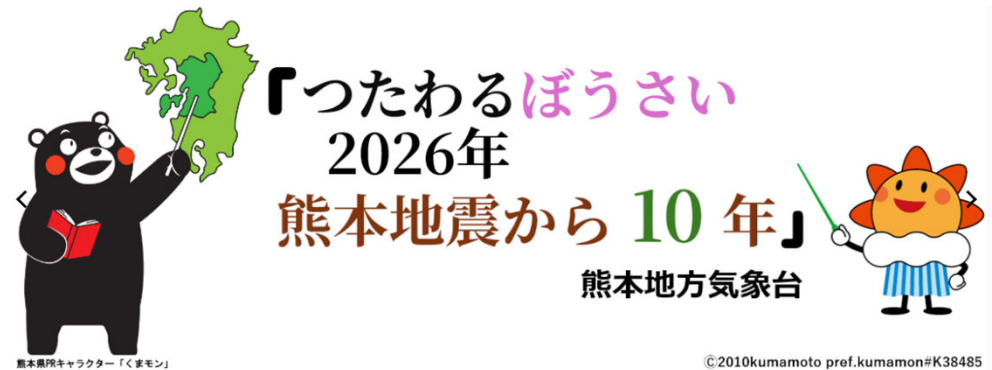
R5 ・最大30分前倒しでお知らせ開始
R8 ・図情報(楕円表示)を更新予定

自治体からの避難情報や周辺状況を確認し、速やかに安全確保

迫りくる危険から直ちに避難

時間

今年の梅雨の見通し等について



熊本県内の梅雨時期の降水量

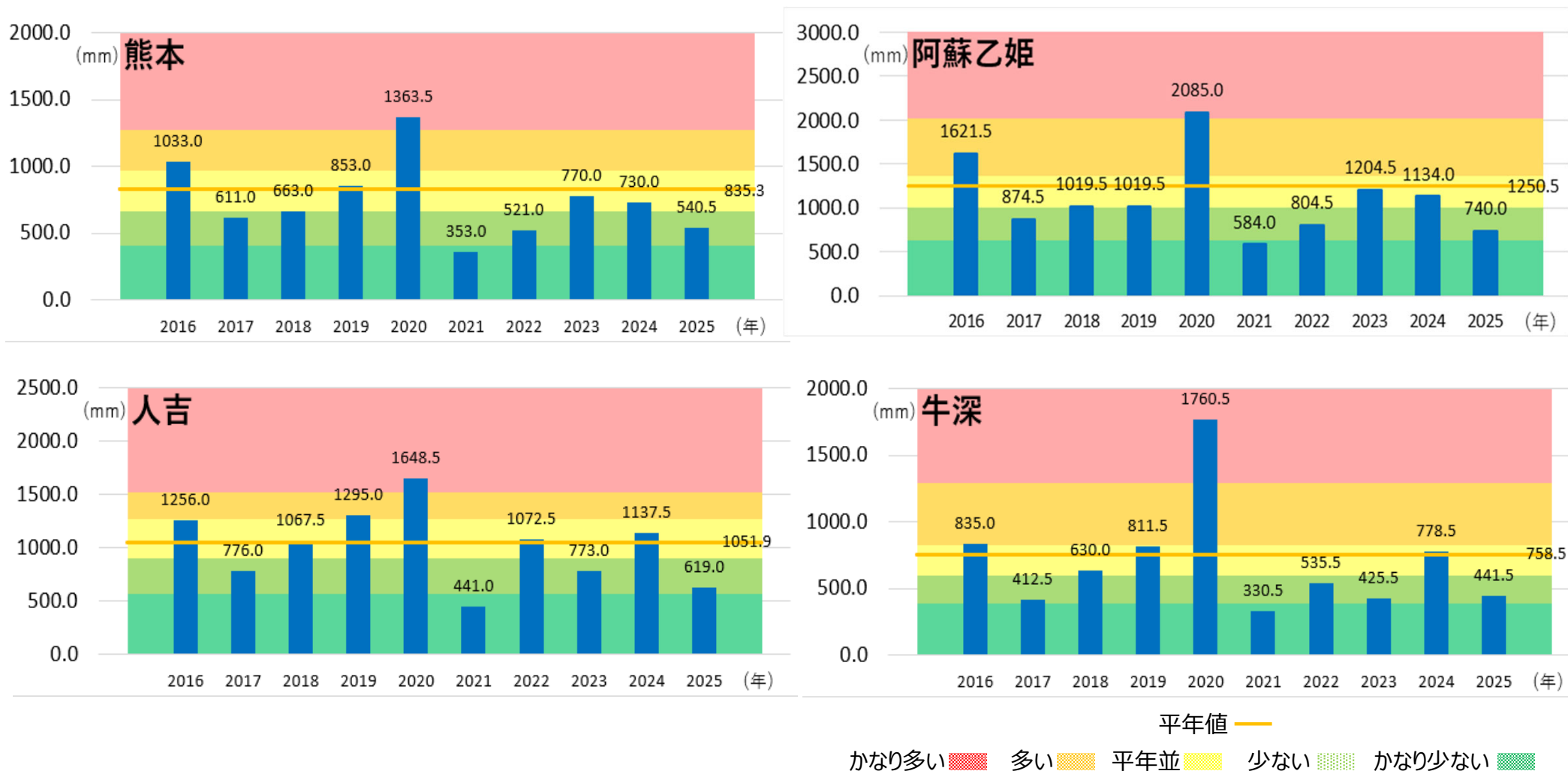
九州北部地方の梅雨入り、梅雨明け日

※九州北部地方：山口県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県

【平年値】梅雨入り：6月4日頃、梅雨明け：7月19日頃

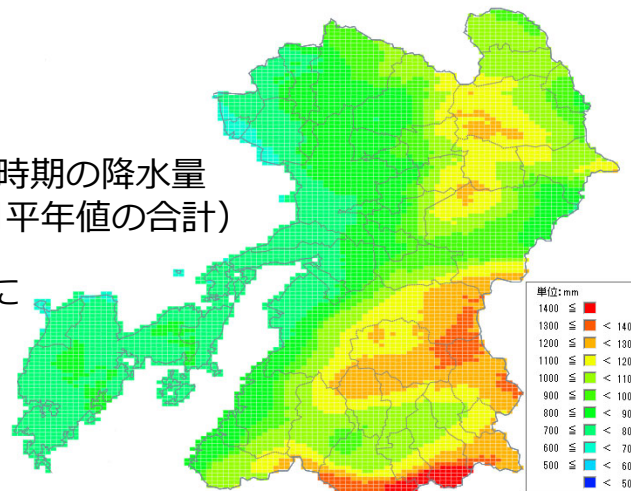
(令和7年：梅雨入り：5月16日頃、梅雨明け：6月27日頃)

熊本県内主要4地点における梅雨時期の合計降水量(2016年以降)

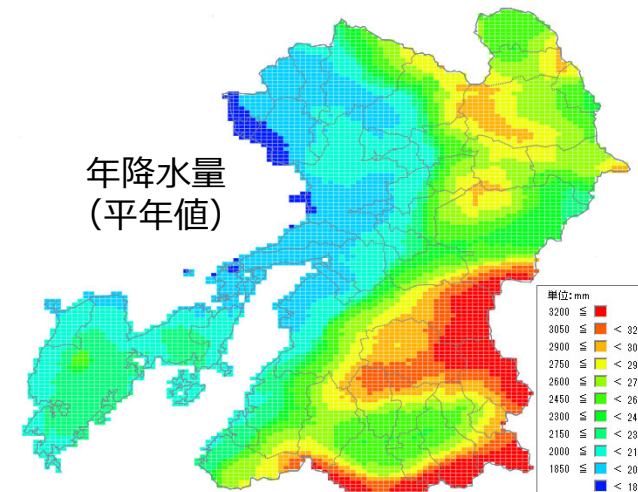


熊本県の梅雨の特徴

梅雨時期の降水量
(6,7月平年値の合計)



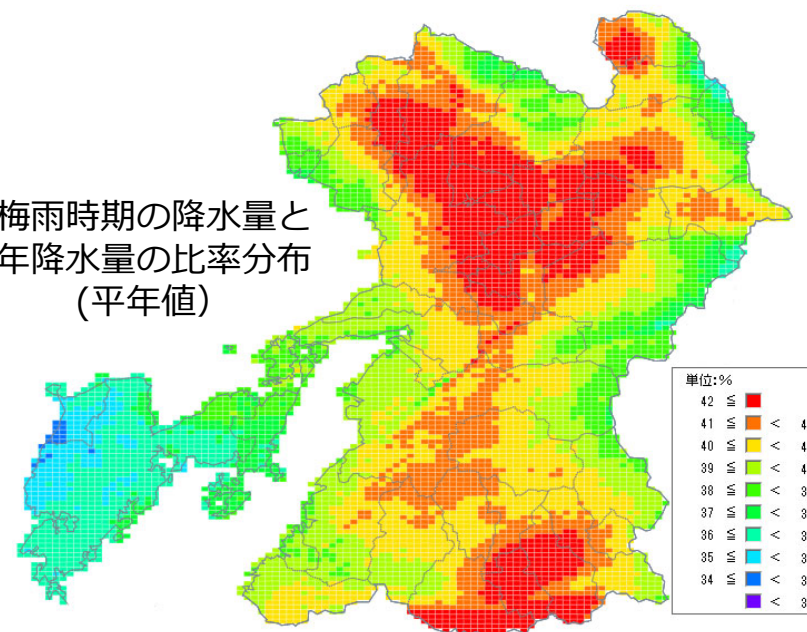
年降水量
(平年値)



平年値 (1991~2020年) による、年間降水量に占める梅雨時期 (6~7月) の降水量の割合

観測地点	平年降水量 (mm)		比率 %
	梅雨時期	年間	
熊本	835.3	2007.0	42
阿蘇乙姫	1250.5	3009.6	42
人吉	1051.9	2534.9	41
牛深	758.5	2109.8	36
下関	563.0	1712.3	33
福岡	548.7	1686.9	33
佐賀	693.8	1951.3	36
長崎	628.6	1894.7	33
大分	574.9	1727.0	33
宮崎	855.6	2625.5	33
鹿児島	935.1	2434.7	38

梅雨時期の降水量と
年降水量の比率分布
(平年値)



熊本県内の年間降水量は、九州山地西側の球磨地方や阿蘇地方で特に多い。
また、**年間降水量に占める梅雨時期の降水量の割合が比較的大きいのが熊本県の特徴。**
たとえば、熊本では年間降水量2000ミリ前後に対し、6~7月の梅雨時期の降水量は800ミリ程度で、**年間降水量の約4割**を占める。

今年の梅雨の見通し (6月～8月の天候の見通し)

九州北部地方 向こう3か月の予報のポイント (5/19発表)

- 暖かい空気に覆われやすいため、**気温は高い**
- **降水量はほぼ平年並の見込み**

6月	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
8月	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

	6月	7月	8月
気 温	低 並 高 (%)	低 並 高 (%)	低 並 高 (%)
	高い 10 : 30 : 60	高い 10 : 30 : 60	高い 10 : 30 : 60
降 水 量	少 並 多 (%)	少 並 多 (%)	少 並 多 (%)
	ほぼ平年並 30 : 30 : 40	ほぼ平年並 30 : 40 : 30	ほぼ平年並 30 : 40 : 30